

下線は新規

平成28年9月12日

南砺市長 田中 幹夫 殿

南砺市自治振興会連合会
会長 松本 久介



要 望 書

貴職におかれましては、南砺市の発展に昼夜を問わずご尽力いただいておりますことに、心から敬意を表する次第であります。

とりわけ、積極的に地域に出向き、我々市民との対話の中で市政運営をいただいておりますことに、当連合会といたしましては、大変に心強く感じております。

さて、昨年春に開業した北陸新幹線や、南砺市の地方創生版とも言うべき「南砺幸せなまちづくり創生総合戦略」の実施や、公共施設等の見直し、そして市内のどの地域においても、少子高齢化をはじめとするさまざまな地域課題が山積しております。

このような中、「まちづくり基本条例」の主旨に則り、より良い南砺市を目指していくためには、自治振興会としての役割が非常に大きいと考えております。

ついでには、次の点について平成29年度予算編成、並びに市政運営に反映いただきたく格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

1. 安全で安心な暮らしやすいまちづくりについて

市民が安全・安心で地域に暮らすためには、消防力の向上、防災対策の徹底、生活基盤となる道路網の整備や公共交通の確保が重要となってきます。

消防署再編に伴う跡地の有効活用やアクセス道路の整備、老朽化した機材の更新、効率的な施設整備など、早急な対応が必要となっております。

また、近年の異常気象による豪雨等の対策として、洪水調整機能を有するダムの整備、流下能力を高めるための河川の浚渫や改良が必要となっております。

生活基盤となる道路網の整備については、中京圏と北陸を結ぶ東海北陸自動車道が安全に通行できるよう、早期の4車線化が望まれています。

さらに、通学路の安全対策や道路整備、安全な交通を確保するための維持管理の徹底などを進めることが必要となっております。

そして、高齢者の交通手段の確保として各種バスの運行、防犯対策の強化にも事業実施を期待しております。

このことから下記の項目について積極的な対応を図りたい。

(1) 消防力の向上 H28-058-001 総務課 防災危機管理係

①消防ポンプ車や耐震防火水槽、屯所をはじめとする消防施設等について、整備・更新の促進を図ること。

- ・消防ポンプ車の更新の促進
- ・効率的な出動に向けた、屯所の整備（福光分団、平方面団、上平方面団）
- ・消火栓案内設置看板の全市的な整備

~~②消防署跡地（井波庄川）の有効活用については、地域の防災拠点としての利用を図るなど、幅広い市民の意見を取り入れ、早期に方針を決定すること。~~
要望取り下げ

(2) 災害防止対策 H28-058-002 建設課 道路河川維持係

各地域における浸水対策の取組を進め、早期に対策の効果が発揮されるよう取り組むこと。

- ・豪雨対策として、普通河川における浚渫の実施
- ・防災資材（土のう、充填用砂）備蓄箇所の周知及び利用方法の訓練実施
- ・流下能力を高めるために、河川の堆積土砂の浚渫や雑木、雑草の除去等を管理者に要請
- ・雨量等による通行規制がおこなわれる国道について、引き続き対策工を実施され、規制の見直しに向けた取組を管理者に働きかけること。

(3) 河川改修 H28-058-003 建設課 道路河川維持係

水害など、各地域における浸水対策の取組を進めるため、河川改修を促進し、また管理者など関係機関への改修を要請すること。

普通河川の改修要望については、「生活基盤整備事業補助金により整備されたい」との回答であるが、補助率は40%、補助上限額が40万円であ

り、水路断面、整備延長等により地元負担が大きい。同じく市単独土地改良補助の排水路整備にあっても、水路断面、整備延長により地元負担が莫大となる。普通河川、法定外公共物の水路改修について、流域条件、整備断面等整備事業規模による補助率アップ等見直しを図ること。

- (4) **砂防事業や急傾斜地対策事業等の促進** H28-058-004 建設課 道路河川維持係
土砂災害警戒区域の指定を受けた溪流について、砂防・治山事業による山間部の土石流等の対策がとられるよう要望を進めること。
- (5) **利賀ダムの整備** H28-058-005 建設課 利賀ダム対策室
近年多発する災害から庄川流域 30 万人の生命・財産を守る利賀ダムの整備促進や、「国道 4 7 1 号利賀バイパス」の整備を含め必ず完成するよう工事の促進を求めること。
転流工進入路工着工から 1 3 年後の完成と聞いておりますが、速やかな検証作業の終結と、工事用道路及びダム本体工事の整備促進を図り、一日も早く完成するよう関係機関に働きかけること。
- (6) **東海北陸自動車道の 4 車線化とアクセス道路の整備促進について** H28-058-006 建設課 道路係
東海北陸自動車は、中京圏と北陸を結び、沿線地域の産業経済・観光等の発展に大きな役割を担っており、高速道路としての安全と最大の効果を発揮するために、早期の 4 車線化の整備を求めること。
また、南砺スマート I C から川崎橋の架け替えを含む福野市街地～安居地内のアクセス道路整備の早期実現に向けて働きかけること。
- (7) **城端スマートインター開設への取組み促進について** H28-058-007 建設課 道路係
クリエイタープラザオープンに伴い、桜ヶ池周辺の利用者の増加が見込まれることから、城端スマート I C の開設に向けた具体的な取組みを加速すること。
- (8) **市道の整備計画について** H28-058-008 建設課 道路係
現行の「南砺市安全・安心な道路整備 5 箇年計画」の進捗状況や平成 3 0 年以降の計画策定については、各地区路線の検討状況等を含め自治振興会と協議すること。
- (9) **安全なまちづくりのための市道整備について** H28-058-009 建設課 道路係
消防署再編により南砺市では 2 署所体制となり、安定的な消防体制と消防力強化、機動力向上を期待していますが、それに即した道路網の整備も必要と考えます。到着時間が遅くなることに、住民は不安を感じています。住民に不安のないようアクセス道路について、道路整備 5 箇年計画とは別に、現実に即した緊急ルートの整備を進めること。 H28-058-010 建設課 道路河川維持係
今日の人口減少や空き家の増加・高齢化により、冬期間における生活道路の確保が困難となってきた。地域ぐるみ除排雪による小型除雪車の導入を進められているが、地域によっては、オペレーターの確保が難しく、更に地区の人口減少により、機械の維持管理負担の増加も問題になってきている。消雪装置設置など、計画策定にあたっては地元の意見を反映する

こと。

(10) 市道等の管理について H28-058-011 建設課 道路河川維持係

ガードレールの破損やデリネーターポールの破損等、比較的簡易な修繕が放置されており、早急に修繕すること。

また、安全標識や案内標識の劣化、撤去後未整備の箇所が多く整備等をすること。

「市道クリーンアップ事業」の補助金算出基準について、世帯数により算定されているが、村部と市街地では、世帯密度が大きく異なることから、算出根拠の見直しを含めた実効性のあるものに検討すること。

山間過疎地域については、引き続き草刈り作業応援隊での集落作業支援を要望します。 H28-058-012 南砺で暮らしません課 協働のまちづくり係

(11) 公共施設周辺の管理について

公共施設周辺の用排水路について、耕作者が少なく、また高齢化により、江浚いが行き届かず土砂等の堆積により流れが止まり蚊の発生要因等環境の悪化が心配される。また、市道の側溝については、住宅が無く江浚いが実施されていない状況である。

H28-058-013 教育総務課 学務係

H28-058-014 福祉課 社会福祉係

このため公共施設周辺の側溝及び用排水路の江浚い等については、施設管理者での江浚いの実施、又は地元町内会の江浚い行事の参加協力を図ること。

(12) 山間地域の市道・林道の安全確保と環境保全について

H28-058-015 建設課 道路河川維持係

主要な林道や遊歩道に隣接した山林には、枯損木の存在が考えられますが、その実態については調査がなされていないのが現状です。

事故の発生を防止するためにも、山間地域における市道・林道や遊歩道における枯損木の調査を実施され、危険を及ぼす可能性がある場合には、所有者への指導や市による伐採、また、降雪期初期の道路除雪支障木（いわゆるよりかかり木）についてパトロールの徹底とともに事前除去を実施すること。

H28-058-016 農林課 林政係

また、エコビレッジ政策と関連し、里山の整備、管理を進め、間伐材の適正利用の促進と共に山地災害のない自然環境の保全政策を推進すること。

(13) 防犯対策の推進について H28-058-017 市民生活課 生活安全衛生係

地域で、安全安心に暮らす上で防犯対策は欠かすことのできない要素であることから、事件の発生を未然に防ぐための防犯カメラの設置について、設置基準の明確化と計画的な整備を進めること。

また、高齢者の振り込め詐欺被害等が連日新聞紙上を賑わしていることから、消費者安全確保地域協議会の設置を推進する体制の整備を進めること。

(14) 鳥獣被害対策の推進について H28-058-018 農林課 林政係

イノシシ、クマ、ニホンザルなど野生動物が年々頻繁に出没し、農作物への被害や人的危害を与えるなど、住民の安全な生活が脅かされている。このことから駆除を含めた有害鳥獣被害の抜本的防止対策を図ること。

(15) 老朽危険空き家について H28-058-019 税務課 資産税係

老朽危険空き家（住宅）の解体を躊躇される理由に、固定資産税の住宅用地の特例のことがあげられています。

老朽危険空き家（住宅）所有者や管理者は住宅用地の特例の恩恵がなくなり固定資産税が増額されてしまうため、老朽危険空き家（住宅）を放置する機会が多いように思われます。

このことから、老朽危険空き家（住宅）の解体促進のため解体後一定期間、住宅用地の特例と同程度の固定資産税の軽減措置を図られるよう要望します。

2. 地域活性化の支援策について

近年、市街地における空き店舗が増加しているばかりではなく、市内公共交通の拠点となる、すべてのJR駅舎内の売店が閉鎖されており、このことが地域の活力をさらに低下させる一因となっています。

しかし、市内には近県からの来訪者が多い観光資源も数多くあり、その資源のさらなる活用と維持が望まれているところです。

このことから、下記の項目について積極的な取り組みを図りたい。

(1) JR 城端線について H28-058-020 地方創生推進課 交通政策係

利用者の減少や、市からの助成の打ち切りによって、駅構内の売店が閉鎖されるなど、市の玄関口としての活力が失われていることから、利用者の多数を占める高校生が活用しやすい施設として再生するとともに、JR利用者以外も利用することができる、地域コミュニティ施設としての検討をすること。

H28-058-021 地方創生推進課 交通政策係

また、北陸新幹線開業により関東方面からの観光客がJR城端線を利用することが多くなることから、JR城端線新高岡駅のホームを二つ確保できる島方式に改善すること。また各駅に下車した城端線利用者が容易に観光目的地案内サービスを受けられるよう、H28-058-022 交流観光まちづくり課 交流観光係土日を含む観光案内機能の強化を図ること。

あわせて、城端線の揺れの著しい区間の保守管理の徹底と、城端駅への関東・関西方面等各駅への切符が買える、オンライン券売端末機の設置をJRに要望すること。 H28-058-023 地方創生推進課 交通政策係

H28-058-024 地方創生推進課 交通政策係城端発 7:28 分高岡行は、1両編成のため満員で乗れなくなることがあり、2両編成に増強されるよう要望します。また、このような満員乗車に対応可能な、ロングシート車両の導入又は改善も要望すること。

北陸新幹線の新高岡駅の夜間の乗り継ぎ時間が長く、利用しづらい状況にあり、ダイヤの改正を働きかけること。 H28-058-025 地方創生推進課 交通政策係

(2) 公共交通の確保および交通体系の見直しについて

H28-058-026 地方創生推進課 交通政策係

平・上平地域では、世界遺産バスの運行に伴い、病院への通院時には城端駅での乗換えが必要となった。また、バス車両が従来の低床タイプから観光

バスタイプとなったため、乗降時に高齢者が苦慮している。乗降の利便性が改善された車両導入を図ること。

南砺金沢線バスについては、北陸新幹線開業の最大のメリットを引き出す上でも、今後も継続すること。**H28-058-027 地方創生推進課 交通政策係**

なんバスの福野・井波・井口循環線（左回り）は、JR 城端線高儀駅前を通らず、また、通勤通学時間帯の運行もないことから、井波地域では公共交通を利用した JR 城端線の通勤・通学が難しい状況にある。このため、なんバスの福野・井波・井口循環線（左回り）の運行について、JR 城端線高儀駅前を経由するルートの見直し及び JR 城端線・高速バス（砺波・城端線）に接続する運行路線の新設又は増便を図ること。**H28-058-028 地方創生推進課 交通政策係**

(3) 観光資源の有効活用 **H28-058-029 文化・世界遺産課 文化振興係**

北陸新幹線効果にあわせ、世界遺産五箇山合掌集落をはじめとする南砺市の観光資源の有効活用を図られたい。特に世界遺産五箇山合掌集落には、茅場造成などの維持管理や茅保管庫の整備に対し支援いただきたい。

合掌の里において、高速バスや世界遺産バスが乗り入れるための市道は、大型バスが進入するには困難な箇所がある。南砺市交流観光まちづくりプラン（平成25年度～34年度）における「パワーオン事業」として、「五箇山合掌の里」のリノベーションを図り、バスターミナル利用等が計画されている。次期の道路整備5箇年計画において抜本的な道路改良を行っていただきたい。また、国道156号沿いの「合掌の里」、「五箇山菅沼」の二つのバス停に当面の対策として屋根付き施設の設置を含めバス停の整備を行っていただきたい。**H28-058-030 建設課 道路係**
H28-058-031 地方創生推進課 交通政策係

インバウンド効果を活かすため、主要駅、観光地、観光施設案内標記等の外国語標記の順次整備をお願いしたい。**H28-058-032 交流観光まちづくり課 交流観光係**

石川県境に位置する医王山麓観光施設については、金沢側から市への入口といった立地を有効に活かすために、施設の充実、環境の整備、市内の温泉とあわせた広報などによる利用促進に取り組まれない。**H28-058-033 交流観光まちづくり課 交流観光係**

また、城端曳山祭、高岡御車山祭、魚津のたてもん祭りの3つがユネスコ無形文化遺産登録となる見込みであり、その観光支援や通年観光に関する検討組織の設置に取り組まれない。**H28-058-034 交流観光まちづくり課 ブランドプロモーション係**

(4) 空き店舗の有効活用のための振興策の拡充 **H28-058-035 商工課 商工係**

中心市街地における空き店舗が増加している。空き店舗を活用するために、助成等の振興策について、拡充を図ること。

3. 地域での見守り体制について

地域で暮らし続けるためには、生まれたときから介護が必要となるときまで、地域での見守りが大切となっています。地域での見守りを進めるにあたり、自治振興会の位置づけは今後ますます重要となりますが、同時に各地区社会福祉協議会の活

動活性化が重要となっております。

このことから、下記の項目について積極的な取り組みを図られたい。

(1) 地区社会福祉協議会の活動活性化 H28-058-036 福祉課 社会福祉係

今後の高齢者対策、子育て支援など、地域での見守り体制の充実については、自治振興会といたしましても、その役割がどこまで担えるかを検討しているところではありますが、引き続き活動活性化に向けて市からの協力を求めたい。

(2) 保健センター機能の充実 H28-058-037 健康課 保健センター

専門資格者が常駐する利点を生かし、保健センターでの取組みに、障害訓練、子育て支援、放課後児童保育等の機能を加え、母子、高齢者、障害者等が利用しやすい施設になるよう検討されたい。

4. 子育て・教育環境の充実について

元気で活気ある南砺市の実現には、妊娠、出産、保育、義務教育、高等教育のどの時期においても、充実した子育て環境が求められています。地域で出産することができ、充実した子育て環境が整備されることで地域の魅力が高まり、安心して子育てができるものと考えます。

このことから、下記の項目について積極的な取り組みを図られたい。

(1) 妊娠から出産、そして子育てまで、安心して生み育てることのできる環境の整備 H28-058-038 医療課

地域医療を担う開業医が少なくなっており、特に産婦人科医や助産所がないことが、妊産婦が安心して生み育てることができない一因となっています。南砺市内で、安心して出産でききるよう長期的な取組みを求めます。

また、共働き夫婦の増加もあり、幼児教育時の負担が高いことから、少子化問題に対応した子育て支援策をより推進していただきたい。

(2) 地域での子育ての拠点となる児童館等の学童保育時間の延長 H28-058-040 こども課 子育て支援係

地域で暮らし子供を育てる上で、児童館・学童保育・放課後児童クラブの利用しやすい運営時間等は大変重要な要素となります。

地域によって学童保育の時間が短い地域があり、共働き家庭からは、利用時間の延長も求められています。

このことから、地域における学童保育の時間延長に取り組むこと。

(3) 小・中学校一貫教育の推進 H28-058-041 教育総務課 学務係

少子化に伴い、児童生徒の減少に歯止めがかからず、小・中学校ともに複式学級による学級編制を余儀なくされる状況となっています。

本年度施行の改正学校教育法で新たに規定された「義務教育学校」の実現に向けて積極的な検討をお願いします。

(4) 小・中学校の複式学級解消 H28-058-042 教育総務課 学務係

学校は地域活力の源です。小・中学校の複式学級を解消する関係規則の改正などを国・県に働きかけていただき、小規模小・中学校の学習環境整備に格段のご配慮をお願いしたい。

(5) 特色ある高等教育の実施に向けた取り組みの推進

H28-058-043 教育総務課 総務係

南砺福光高校は県内で唯一の全日制国際科を有し、国際交流に積極的な南砺市の特徴を活かす教育が進められており、地域にとっても必要不可欠な教育機関であるといえます。引き続き、中高一貫の教育体制の検討も含め、国際人の養成等、特色ある教育により、地域で活躍する人材の養成を県と協力して進められたい。

5. 散居村景観の保全と市街地の活性化 H28-058-044 農林課 農産振興係
建設課 農林施設整備係

南砺市は、四季折々に変化する水田と屋敷林に囲まれた点在する家屋が織りなす素晴らしい散居の景観がある。これらを後世に永く継承していくために、保全する区域と調和する区域の整理や住民協力の手法などについて調査検討されたい。

一方、若い世代の定住化に必要な暮らしやすさについても、町の中心市街地における賑わいのあるまちづくりを官民連携して取り組まれたい。

H28-058-045 商工課 商工係

6. その他

(1) 統合庁舎建設について H28-058-046 行革・施設管理課 行革推進係

統合庁舎の建設計画にあつては、十分に自治振興会、住民の意見を聞き、コスト面だけで判断せずに、防災の観点、まちづくりの観点、将来の広域連携の観点からも検討されるよう要望します。また、自治振興会に説明する前に住民説明をするなどで混乱が起ころぬよう配慮願います。

(2) 公立病院のあり方について H28-058-047 医療課

公立病院のあり方については「病院改革プラン策定委員会」で検討中であり、住民の意見を聞いたり、検討中の議論について情報公開を行いながらすすめるよう配慮願います。

(3) 公共施設再編計画について H28-058-048 行革・施設管理課 行革推進係

公共施設等の再編は必要な取り組みであるが、その推進により、市の魅力が喪失し人口流失が加速化することが無いよう慎重に取り組みを進められるよう要望します。

実施にあたっては、関係住民と十分な協議を行いすすめるよう要望いたします。